

みずほCustomer Desk Report 2024/03/11号(As of 2024/03/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	147.86
TKY 9:00AM	147.86	1.0951	161.93	1.2814	0.6621		
SYD-NY High	148.12	1.0980	162.17	1.2893	0.6667		
SYD-NY Low	146.48	1.0918	160.64	1.2802	0.6614		
NY 5:00 PM	147.09	1.0941	160.84	1.2859	0.6627		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	38,722.69	▲ 68.66	日本2年債	0.1900%	0.0000%		
NASDAQ	16,085.11	▲ 188.26	日本10年債	0.7300%	0.0000%		
S&P	5,123.69	▲ 33.67	米国2年債	4.4767%	▲ 0.0257%		
日経平均	39,688.94	90.23	米国5年債	4.0484%	▲ 0.0256%		
TOPIX	2,726.80	8.26	米国10年債	4.0750%	▲ 0.0116%		
シカゴ日経先物	38,875.00	▲ 880.00	独10年債	2.2670%	▲ 0.0265%		
ロンドンFT	7,659.74	▲ 32.72	英10年債	3.9730%	▲ 0.0180%		
DAX	17,814.51	▲ 28.34	豪10年債	4.0120%	▲ 0.0190%		
ハンセン指数	16,353.39	123.61	USDJPY 1M Vol	8.96%	0.11%		
上海総合	3,046.02	18.62	USDJPY 3M Vol	8.57%	▲ 0.08%		
NY金	2,185.50	20.30	USDJPY 6M Vol	8.69%	0.02%		
WTI	78.01	▲ 0.92	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.67%	Yen Call Over		
CRB指数	276.60	▲ 2.49	EURJPY 3M Vol	8.04%	0.06%		
ドルインデックス	102.71	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	8.29%	0.02%		

東京	東京時間のドル円は147.86レベルでオープン。朝方は前日の流れを引き継ぎ売りが進んで一時147.54を付けるも、すぐに戻され148円近辺まで買われる。その後は米国雇用統計を控えて動意薄く147.90を中心とした狭いレンジで推移し、147.95レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.95レベルでオープン。日銀会合への思惑で円高が継続146.88まで売られる。ただ、午後に米2月雇用統計を控えてのポジション調整もあってか、結局147.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。日銀が3月のマイナス金利解除に傾いているとの報道を受け、円買いが優勢となり、147.24レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米2月非農業部門雇用者数変化指数ヘッドラインが予想を上回り、発表直後は147.53まで買われるも、直後に前回の結果が大幅下方修正された事や、失業率も予想より悪化している事が嫌気され、一転146.48まで売り戻されるなど神経質な値動きが続く。その後は米金利が戻す展開に追随し、147.20付近まで反発。午後は米金利が上昇幅を縮小させる動きに伴い、147円付近まで小幅反落し、147.09レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。独1月PPIが予想を上回るも、特段材料視されず。その後は独金利低下に伴った売りが先行し、1.0930付近まで下落し、1.0932レベルでNYオープン。朝方に発表された弱い米雇用統計の結果を背景に、ドルが売られる中、1.0980まで上伸。しかし、その後は米金利が徐々に戻す展開が上値を抑え、1.0950付近まで反落。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、1.0940付近での小動きが続き、1.0941レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月8日	14:00	日 景気一致指数・速報	1月 110.2	110.2
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 1.0%	0.6%
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 0.2%/-4.4%	0.1%/-6.6%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	4Q 0.0%/0.1%	0.0%/0.1%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 275k	200k
	22:30	米 失業率	2月 3.9%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.1%/4.3%	0.2%/4.3%
	23:30	米 非農業部門雇用者数過去2カ月の修正	2月 -167k	-

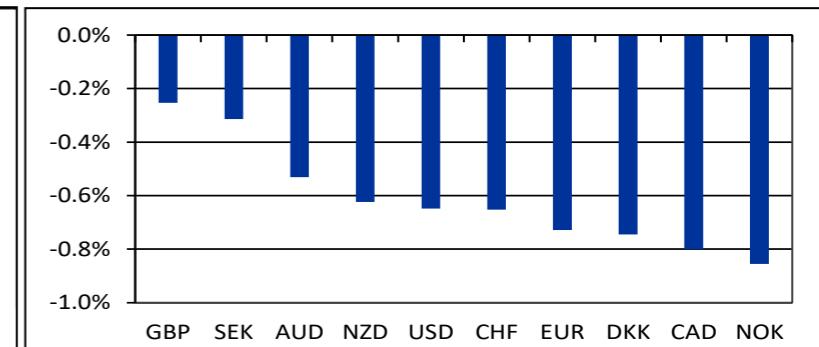
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月11日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	4Q 0.3%	-0.1%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	4Q 1.1%	-0.4%
	08:50	日 GDPテレレーター(前年比)・確報	4Q 3.8%	3.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-148.00	1.0800-1.1000	158.50-161.50

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は下落。147.86レベルでオープンしたドル円は円買いが先行し、一時147.54まで下落もすぐに戻され、この日の高値148.12をつけ、午後は動意薄のまま海外へ。海外時間に入ると、日銀によるマイナス金利解除実施の思惑からドル円は1円程度急落。さらにその後発表された(米)2月雇用統計結果を受け、FRBによる早期利下げ観測が広がり、この日の安値146.48をつける。その後は147円台を回復するも上値の重いまま147.20レベルでクローズした。

本日のドル円は神経質な展開を予想。金曜日に発表された(米)2月雇用統計の結果は、米労働市場が減速しつつある可能性が示唆される内容となった。この結果を受け市場ではFRBによる早期利下げ観測が加速、さらに来週のBOJにおいてマイナス金利解除が実施されるとの思惑により、円買いドル売り要因が意識されやすい。尚本日については本邦10-12月期GDP(確報)の発表が予定されており、来週のBOJを控える中、神経質な展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大野・升谷